保存版

もしもの時の 防災ガイド

Disaster Prevention Guide

泉佐野市イメージキャラクター
一生犬鳴！イヌナキン！

緊急時の連絡先

警察	110	火災・救急・救助	119
泉佐野市役所	072-463-1212	泉州南広域消防本部	072-469-0119
火災等問い合わせ	0180-997-009	救急相談（救急安心センターおおさか）	#7119 又は 06-6582-7119

平成26年(2014年)2月発行

泉佐野市
IZUMISANO-CITY

避難情報

警戒避難時には、市の防災行政無線、広報車、メール配信サービス「おおさか防災ネット」、防災情報ツイッター、その他の方法を通じて避難の情報が発表されます。住民の皆さんは下記の情報の種類によって行動してください。

情報の種類	発令時の状況	市民に求める行動
避難準備情報	・災害発生の可能性が予想される状況	・家族との連絡、非常持出品の用意等、避難準備を開始 ・避難支援者は、支援行動のための準備を開始
一時避難情報	・避難行動を開始しなければならない段階であるが、予想される災害が、自宅内や近隣の、より安全な場所への一時避難で、住民の安全が確保される程度の場合	・自宅内の高所など、人的被害を避けることができる場所へ一時的に自主避難を開始 ・災害時要援護者を必要最小限度の移動で安全な場所へ避難させるため、避難支援者は支援行動を開始
避難勧告	・避難行動を開始しなければならない段階であり、予想される災害が、指定された避難所への立ち退き避難が必要となる程度の場合	・指定された避難所への避難行動を開始 ・災害時要援護者等を指定された避難所へ避難させるため、避難支援者は支援行動を開始
避難指示	・前兆現象の発生や、現在の切迫した状況から、災害が発生する危険性が非常に高いと判断される状況 ・堤防の隣接地、斜面の直下等、地域の特性等から人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断される状況 ・人的被害が発生した状況	・避難勧告等の発令後、避難中の住民は、周囲の状況を確認しながら避難行動を速やかに完了 ・未だ避難していない対象住民は、避難行動に速やかに移るとともに、そのいとまがない場合は生命を守る最低限の行動を開始

避難情報の周知

下記のような方法で発表されます。

インターネットによる情報収集

様々な情報を提供しているサイトの紹介です。チェックしておくといざという時に安心です。

「おおさか防災ネット」

HPアドレス　http://www.osaka-bousai.net/

大阪府と府内全市町村が共同で、府民のみなさんが災害等の発生時に安全に行動することができるよう、幅広い情報をインターネットにより提供するシステムです。

また、携帯メールアドレスを事前に登録いただくことにより、「おおさか防災ネット」から防災情報メールを配信します。

「touroku@osaka-bousai.net」へ空メールを送信して下さい。

※QRコードもご利用頂けます。

イメージ

防災情報ツイッター

防災情報や緊急情報などの発信を目的に、米国Twitter社が運営するインターネット上のコミュニケーションサービスであるツイッターのアカウントを取得し、防災情報をさらに多く、様々な手段で配信できるようになりました。

泉佐野市防災情報Twitter（公式）

アカウント名：泉佐野市防災情報（公式）　アカウントID：@Izumisano_Bosai
アカウントURL：http://twitter.com/Izumisano_Bosai
運 営 者：泉佐野市　アカウントの内容：情報発信
対応時間：平日午前8時45分～午後5時15分において不定期とします。この時間以外に大阪府域に警報等が発表された場合や災害等が発生した場合は情報発信する場合があります。※本サービスは予告なく運営を終了し、または削除される場合があります。

地震 Earthquakes 지진

わが身と家族の安全の確保

Secure the personal safety of you and your family.
자신과 가족의 안전을 확보하자

なによりも大切なのは命。地震が起きたらテーブルなどの下にもぐり、まず第一に身の安全を確保しましょう。

Life is more important than anything else. Ensure your personal safety first by hiding under an object such as a table when an earthquake attacks.

무엇보다 소중한 것은 생명. 지진이 방생하면 테이블 등의 밑으로 대피하고, 우선 제일 소중한 자신의 안전을 확보합시다.

あわてて外に飛び出さない

Don't rush out of the house in panic.
당황해서 밖으로 뛰쳐나가지 않는다

あわてて外に飛び出すと落下物などにより負傷する危険があるので、周囲の状況を確かめて落ちついて行動しましょう。

Dashing outside in a mad rush may risk injury by falling objects. Check the conditions around you and act in a calm manner.

당황해서 밖으로 나가면 낙하물 등에 의해 부상을 입을 우려가 있으므로, 주위의 상황을 확인하고 침착하게 행동합시다.

隣近所で助け合い

Help your neighbors.
이웃과 협조

一人暮らしの高齢者世帯などに積極的に声を掛け、助け合いましょう。

Talk to elderly neighbors living alone and offer help.

혼자사는 노인세대 등에도 적극적으로 관심을 기울이고, 도움을 줍시다.

すばやく火の始末

Put out any fires immediately.
재빨리 사용하던 불을 끈다

揺れがおさまってから「火を消せ！」とみんなで声を掛け合い、調理器具などの火を確実に消しましょう。また、避難前にガスの元コックを閉め、電源ブレーカーを切りましょう。

Once the tremor stops, call out "Extinguish fire!" to each other and make sure flames for cooking equipment are put out. Be sure to cut off the gas and electricity supplies before evacuation.

진동이 멎으면 불을 꺼!라고 모두 외치고, 조리기구 등의 불을 확실하게 끕시다. 또한, 피난 전에 가스밸브를 잠그고, 전원차단기를 끕시다.

戸を開けて出口を確保

Open a window or door to secure an exit.
창과 문을 열어 출구를 확보해 둔다

揺れで扉が開かなくなる時があります。避難のための出口を確保しましょう。

An earthquake may cause the door to get stuck. Make sure you have an exit for evacuation.

진동으로 인해 문이 열리지 않는 경우가 있습니다. 피난을 위한 출구를 확보합시다.

風水害 Storms and Floods 풍수해

注意報・警報が出たら

When Advisories and Warnings are issued.
주의보・경보가 발령되면

外出を控える
Refrain from going out.
외출을 삼간다
注意報・警報が出たら、外出は控えて新しい情報に注意してください。

最新の正確な情報を収集する
Gather the newest and accurate information.
최신의 정확한 정보를 수집한다
テレビ、ラジオ、インターネットなどに注意し、最新の災害情報の入手に努めましょう。

降水量に注意する
Pay attention to the amount of rainfall.
강수량에 주의한다
一般に1時間に20ミリ以上、または降り始めてから100ミリ以上になったら十分な注意が必要です。

危険な場所へ近づかない
Don't approach dangerous places.
위험한 장소에 가까이 가지 않는다
増水した川、急傾斜地など、危険な場所へは、近づかないようにしましょう。

土砂災害の前兆に気をつける
Pay attention to signs of Landslide Disasters.
산사태의 전조에 주의한다
立木の裂ける音や大きな石の流れる音がしたり、渓流に流木が混ざるなど、土砂災害の前兆に気をつけましょう。

非常持ち出し品を確認しておく
Check items to take with you.
비상용 재난대비용품 준비를
避難に備えて非常持ち出し品を確認しておきましょう。
避難が長引きそうなら、毛布なども準備しておきましょう。

避難勧告・指示が出たら

When Evacuation Advisory and Instructions are issued.
피난권고・지시를 받으면

指示に従い、近くの避難所まで避難する
According to directions, evacuate nearby Shelter.
지시에 따라 가까운 피난소로 피난한다
単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所に避難しましょう。

動きやすい服装、2人以上での避難
Wear loose-fitting clothes and evacuate with a group.
활동하기 편한 옷을 입고, 2명 이상이 함께 피난
避難するときは、動きやすい服装で。1人での避難は避けましょう。

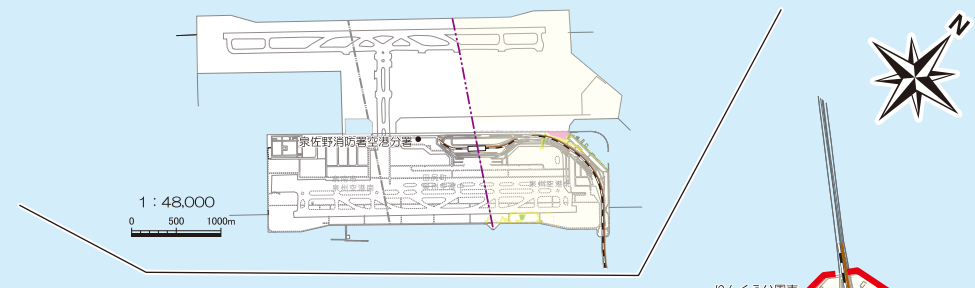
水位の確認
Check the water level.
수위 확인
歩ける深さは、ヒザまでです。腰まで水かさがある場合は歩くのは危険です。無理をせず、高所で救助を待ちましょう。

お年寄りなどの避難に協力を
Help elderly and handicapped people evacuating.
노령자 등의 피난을 돕는다
緊急の時は、おぶって安全な場所まで避難しましょう。できる限り複数の介助者で救援活動を行いましょう。

車での避難は控える
Avoid evacuating by car.
자동차로 피난하는 것은 삼간다
車は、約30cmの水深で走行困難になります。
車での避難は避けましょう。

足下に注意を払う
Please watch your step.
발 밑에 주의
素足、長ぐつは禁物です。ひもでしめられる運動靴をはき、棒を杖がわりにして安全確認しながら避難しましょう。

泉佐野市防災マップ（津波ハザードマップ）



強い揺れを感じたり、津波の恐れがあるときは、とにかく山側へ避難しましょう

津波水位と到達予想時間

今回の南海トラフ巨大地震による想定では、泉佐野市の最大震度は6弱、最大津波水位は3.8m、＋1mの津波の最短到着時間は81分と想定されています。下図は、りんくう公園南での時間ごとの津波水位を示したグラフです。

津波浸水想定

このマップの津波浸水想定は、大阪府が平成２５年８月に公表した南海トラフ巨大地震による津波の浸水想定の浸水区域と浸水深を示しています。

浸水深（m）

	4.0 ～
	3.0 ～ 4.0
	2.0 ～ 3.0
	1.0 ～ 2.0
	0.3 ～ 1.0
	0.01 ～ 0.3

水防関係

The place about prevention of floods

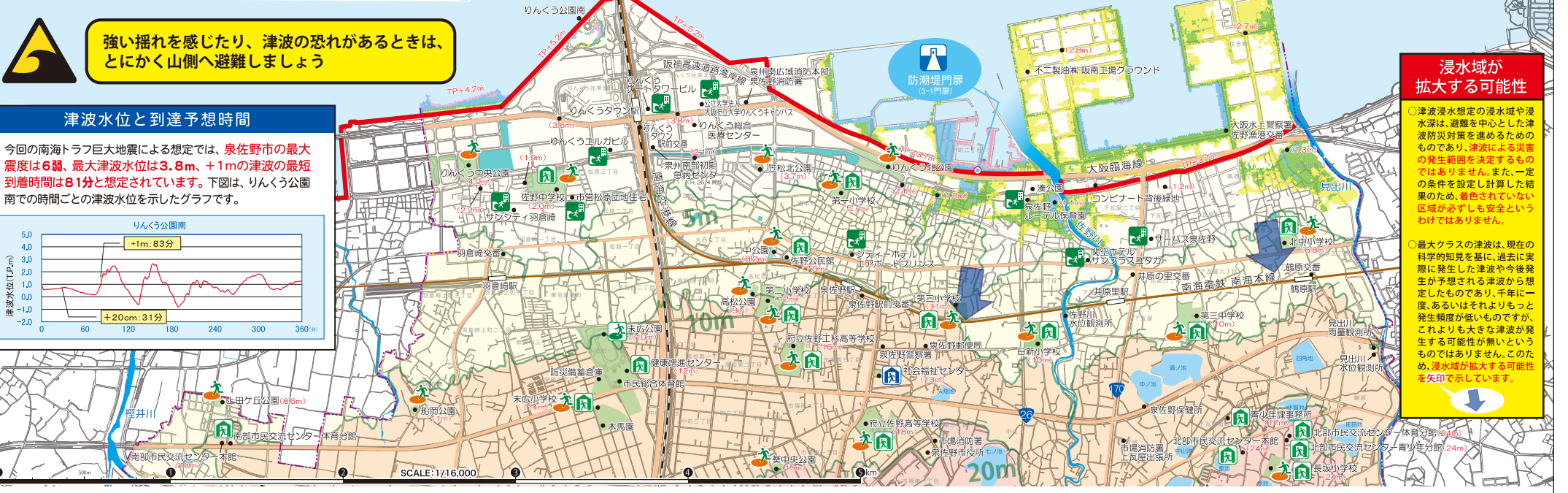
━━	防潮ライン Area for flood prevention 수방 구역
TP＋0.0m	堤防の高さ(注) Bank height 제방높이
（0m）	海抜（地盤の高さ） Height above sea level 해발

(注) 表示している堤防の高さは、地震による沈下は考慮していません。

防災施設

Disaster prevention institution

- 広域避難地 — Wide area resident shelter 광역 피난지
- 一時避難地 — Temporary resident shelter 일시피난지
- 避難所（建物） — Safety evacuation shelter 피난소(건물)
- 福祉避難所 — Welfare shelter 복지 피난소
- 津波時一時避難場所（津波避難ビル） — Tsunami evacuation building 츠나미일때 일시 피난장소(츠나미 피난빌딩)



浸水域が拡大する可能性

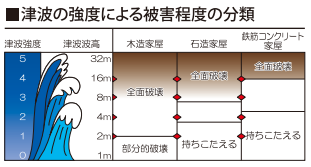
○津波浸水想定の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害の発生範囲を決定するものではありません。また、一定の条件を設定し計算した結果のため、着色されていない区域が必ずしも安全というわけではありません。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が予想される津波から想定したものであり、千年に一度、あるいはそれよりもっと発生頻度が低いものですが、これよりも大きな津波が発生する可能性が無いというものではありません。このため、浸水域が拡大する可能性を矢印で示しています。

おそろしい津波の破壊力

津波はおそろしい力で人や家をのみ込み、陸地に押し寄せる波だけでなく、海へと引き返す波もとても強力で、何度もくり返し押し寄せます。また、危険なのは沿岸部だけに限りません。東日本大震災では、津波が宮城県の北上川を15キロ以上もさかのぼっていたことが確認されています。こうした河川でも十分に気をつけることが必要です。

■津波の強度による被害程度の分類



津波から避難する５つのポイント

ポイント1　地震の揺れの程度で自らで判断しない
揺れがそれほどなくても津波は起きるケースは、過去にもしばしばありました。明治三陸地震津波（1896年）では、沿岸で震度３程度だったにもかかわらず、大津波が押し寄せました。津波の危険地域ではわずかな揺れでも、揺れを感じなくても、地震の発生を知ったら、まず避難を最優先しましょう。

ポイント2　「津波がない」という俗説を信じない
日本海中部地震（1983年）では、遠足で浜辺に来ていた小学生らが津波にさらわれました。この地震が発生するまでは「日本海では津波はない」という俗説が信じられており、警戒心が足りなかったと指摘されています。根拠のない俗説に命をゆだねることなく、気象庁の津波情報に耳を傾けましょう。

ポイント3　避難の際に車は使わない
原則として、車で避難しない。東日本大震災（2011年）や北海道南西沖地震（1993年）では、地震直後に車で避難した人が続出、道路が渋滞して、車ごと津波にのみ込まれて命を落とした人も多くでました。

ポイント4　「遠く」よりも「高く」へ
すでに浸水が始まって、安全な高台に避難できないときは、「遠く」よりも「より高い」場所に逃げるのが原則です。ただ、その場合でも、できるだけ海岸から離れた場所を選びましょう。

ポイント5　引き潮がなくても津波は襲う
津波の前には潮が引くとよく言われますが、前触れとして必ず引き潮があるとは限りません。引き潮がなくても、押し波が襲ってくることもあります。

津波から命を守る対応チャート

津波から身を守るには「にげる」しかありません。チャートに従って、自分の命を守るため早めに避難しましょう。

こんなときには
- 強い地震や長時間の揺れを感じた → 避難する
- 大津波・津波警報が発表された（揺れを感じなくても） → 避難する
- 津波注意報が発表された（揺れを感じなくても） → 避難に備える

まずこのような行動を
- ●沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台や避難ビル等の安全な場所に避難する
  ●ここまで安心と思わず、より高い場所を目指して避難する
  ●沿岸部（津波危険地区）にいる人たちは直ちに避難する
- ●海の中にいる人は、直ちに海から上がって、海岸からはなれる
  ●沿岸部にいる人たちはいつでも、避難できるように準備する

その後は・・・
- ●正しい情報をラジオ・テレビなどで入手する
  ●津波はくり返し来襲するので、警報・注意報が解除されるまでは絶対に海岸に近づかない

■津波に関する警報・注意報

津波警報、注意報は、2013(平成25)年3月7日から変わりました。東日本大震災の教訓を踏まえて、マグニチュード8を超える巨大地震の場合は、その海域における最大級の津波を想定して、大津波警報や津波警報を発表します。最初の津波警報では、予想される津波の高さを数値で示さず、「巨大」「高い」という言葉で発表して避難を促すことに重点を置きます。津波の予想高は第2報以降で公表します。また、高さの区分もこれまでの8段階から5段階に集約します。

警報・注意報の分類		予想される津波の高さ		
		高さの区分	数値での発表（抜き基準）	目大地震の場合の表現
警報	大津波	10m～	10m超	巨大
		5m～10m	10m	
		3 m ～ 5 m	5m	
	津波	1 m ～ 3 m	3m	高い
津波注意報		20cm～1m	1m	（なし）

東日本大震災で役立った避難のための三原則

原則１「想定にとらわれるな」
相手は自然、その想定を超える事態も当然あり得ます。

原則２「最善をつくせ」
「ここまで来ればもう大丈夫だろう」ではなく、そのときできる最善の対応行動をとりましょう。

原則３「率先避難者たれ」
まず自分が率先して避難しましょう。その姿を見て、ほかの人も避難し、結果的に多くの人の命を救うことにつながります。

「岩手県釜石市の津波防災教育」より

津波時一時避難場所一覧（津波避難ビル）

No.	名　称	住　所	海ばつ	階数
1	公立大学法人大阪府立大学りんくうキャンパス	りんくう往来北１－５８	４ｍ	５階
2	りんくうゲートタワービル	りんくう往来北１	５ｍ	56階
3	関空ホテルサンプラスユタカ	湊三丁目３－４	５ｍ	８階
4	サンシティ羽倉崎	羽倉崎四丁目１－５	５ｍ	10階
5	シティーホテルエアポートプリンス	若宮町６－３	９ｍ	９階
6	市営松原団地住宅	松原三丁目２～３	４ｍ	５階
7	泉佐野ルーテル保育園	湊三丁目１３－１１	２ｍ	３階
8	サーパス泉佐野	下瓦屋三丁目１５－５	４ｍ	９階
9	りんくうエルガビル	りんくう往来南２－２	４ｍ	10階

（注）津波時一時避難場所（津波避難ビル）は、原則として高台避難が困難な人のための緊急的・一時的な避難施設です。